

新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書

令和 4年 1月 11 日

宇都宮市長 佐藤栄一殿

宇都宮市議会自由民主党議員会
会長 小林 紀夫
宇都宮市議会公明党議員会
会長 金沢 力

新型コロナウイルス感染症は、世界的猛威が収まるどころか、新たな変異種の発生により感染が広がり、本市においても幼児保育施設などでクラスターが発生するなど、陽性者が増加傾向になりつつある。

世界的には、ワクチン接種率も進んでいるが、国によって国民の接種率には格差があることで、未だ過半数に満たない状況であり、世界的な普及・接種には程遠い状況である。

そのようななか、新たな変異種であり、感染力が高いと言われているオミクロン株は、市中感染する可能性があり感染の急拡大につながると、感染者数が急増し医療提供体制が逼迫することが懸念される。

現在、全国的に感染者が増加傾向にあり、これまでの感染拡大の状況を鑑みると第6波が起こりうる可能性が非常に高いものと考えられ、ピークを出来るだけ小さくするためには、引き続き感染対策を徹底することと、3回目のワクチン接種を含め、ワクチン接種率向上を図る必要がある。

これまで、市民の理解・協力と医療従事者や本市関係部署の職員等の献身的な尽力により、感染を食い止めてきたが、予断を許さない状況である。

本市は、これまでも市民の生命や安全安心な生活を守るとの決意のもと、様々な施策や取組を行っており、今後とも、国・県との十分な連携と、現場の状況の迅速な把握により、後手に回らない対応や感染収束に向けて更なる対策が必要と考え、下記の項目に要望する。

記

- 1 新型コロナワクチン3回目接種に向け様々なケースを想定し、体制と環境を整えること。
- 2 医師会との十分な連携と新型コロナワクチン接種に係る、ワクチンの入荷時期や予約方法・状況など、市民に対して現状の周知と理解促進につとめること。
- 3 新型コロナウイルス感染の収束に向けて、医療機関や関係する事業所などと、更なる連携強化を図るなど、臨機応変に的確な対策を実行すること。
- 4 新型コロナウイルス感染症の影響で学びの継続が困難になっている学生や生徒に対して、特別奨学金など経済的支援を策定すること。
- 5 地域経済への影響は飲食店をはじめ小売店やサービス業など幅広い分野に拡大していることから、今後、買いたくチケットや食バクトチケットのようなチケット販売については、販売方法などの検討を行うこと。
- 6 今後とも、市長自らが前面に立ち、リーダーシップを発揮し、全庁一丸となり対応すること

以上